

申請団体名：久代地区まちづくり推進委員会

令和元年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

絶滅危惧植物の保全をつうじた地域コミュニティの再生事業

事業費（予算額）：80,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：398,700 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

久代地区に自生している「ハマボウフウ」の乱獲による激減、絶滅の恐れを心配した住民の声をきっかけとし、地域資源である「ハマボウフウ」の保護保全活動を通じて、子どもたちを含む保護者世帯と一緒に取り組むことで地域コミュニティの構築・工場を目的とする。

D

事業の概要

乱獲法施策として保護区域に看板を設置。

守るだけでなく増やす取り組みとして、平成 30 年 7 月～8 月には自生している個体から種子を取る作業を行った。11 月～3 月にはポットに播種する作業を行った。

また、環境保全のため海岸周辺の清掃活動を実施し、沢山のゴミの収集をした。

各回延べ 90 名近くの地域住民が参加し、活動を重ねていくにつれ達成感や次の活動への意欲が高まっている。苗が育った 2～3 年先の春には保護区域に植え付けを予定しており、育てた「ハマボウフウ」を使った料理教室イベントも開催を予定している。

C

課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

										○
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

・上記評価の理由

看板設置 予定通り5基設置出来た。

ポットに播種作業し10%以上発芽した。

発芽率は良くて 10%位と出雲農林高校で取組みを指導してられる先生の回答でした。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

発芽している苗の管理をこまめに面倒見し看板設置付近に移植して当初の目標に近づけたい。

